

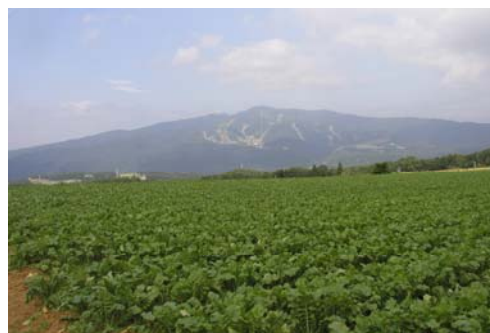
第1章 郡上市の景観

1. 郡上市の景観構造

- ・本市は、市域の約9割を山林が占める山岳丘陵地帯であり、市域の大部分が長良川の源流域を形成しています。市内には“清流”長良川をはじめ、和良川、石徹白川など、24本の一級河川が流れており、これら河川によって形づくられた幾つもの谷筋に集落が形成されています。このような両側に山が迫った方向性の強い景観が郡上市の景観の特徴となっています。
- ・これら谷筋の中で、長良川、吉田川、和良川沿いは比較的谷幅が広く、地域間を繋ぐ主要道路（国道）が走っており、最も大きな谷筋である長良川沿いの平地に人口が集積している市街地が形成されています。
- ・また、本市は市の最北部である白鳥町石徹白地域の銚子ヶ峰と、最南部である美並町地域の木尾で標高差が1,700mと起伏に富んだ地形となっており、大規模な耕作地や別荘地等が展開する高鷲地区のひるがの高原、上野高原、明野高原といった高原地の伸びやかな景観は谷筋の景観とは表情が異なります。
- ・以上のような地形、およびその上で営まれてきた人々の活動により形成された郡上市の景観は、大きく「山林景観」「高原・リゾート景観」「谷筋集落（洞）景観」「沿道集落景観」「市街地景観」の5つに区分して考えることができます。



山林景観



高原・リゾート景観



谷筋集落（洞）景観



沿道集落景観



市街地景観

